



証券コード  
7271

株式会社 安永

2025年3月期決算説明資料

- 1 2025年3月期決算概要**
- 2 2026年3月期通期業績予想**
- 3 トピックス**



1

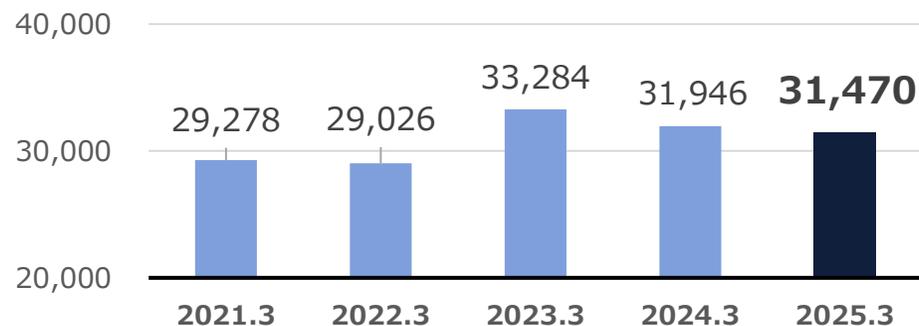
# 2025年3月期決算概要

# 決算ハイライト

- エンジン部品 : 減収減益 (一部量産製品の生産終了や北米市場における生産調整の影響)
- 機械装置 : 増収・赤字幅大幅縮小 (電極活性化装置の売り上げ寄与)
- 環境機器 : 増収増益 (ディスプレイシステム販売増加)

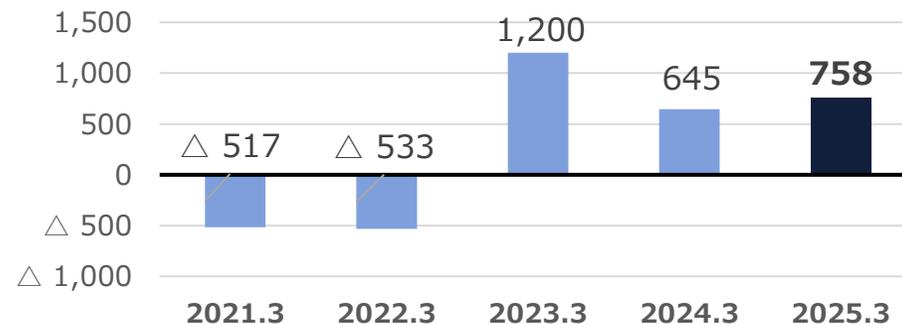
## 売上高

(百万円)



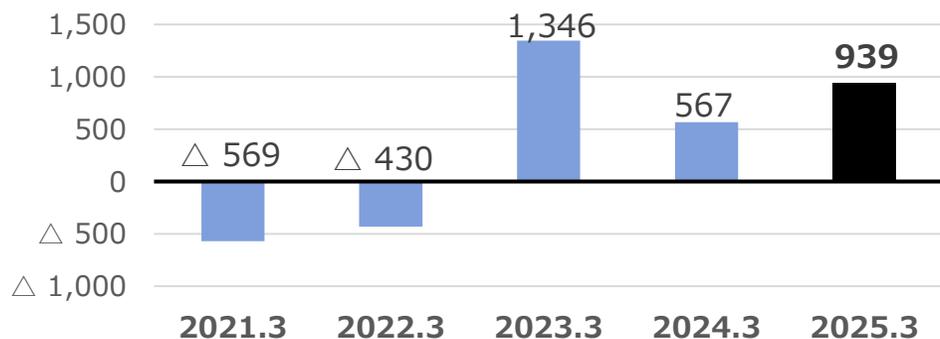
## 営業利益

(百万円)



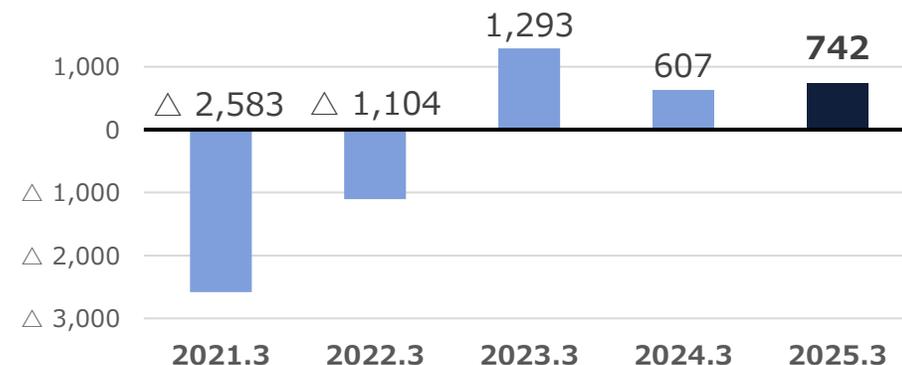
## 経常利益

(百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益

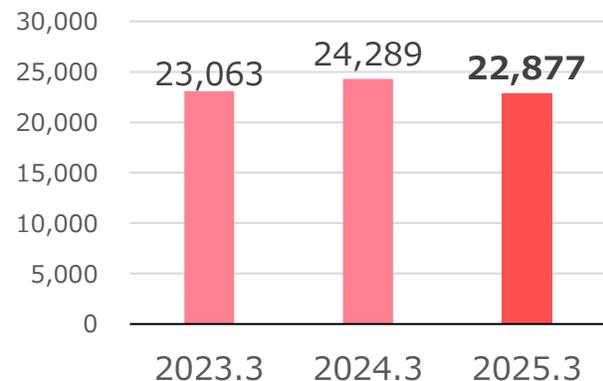
(百万円)



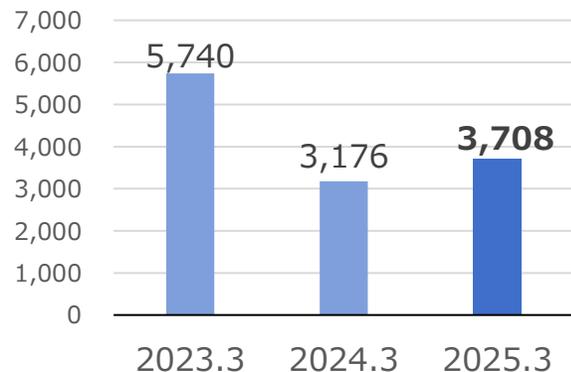
# セグメント別売上高・営業利益

(百万円)

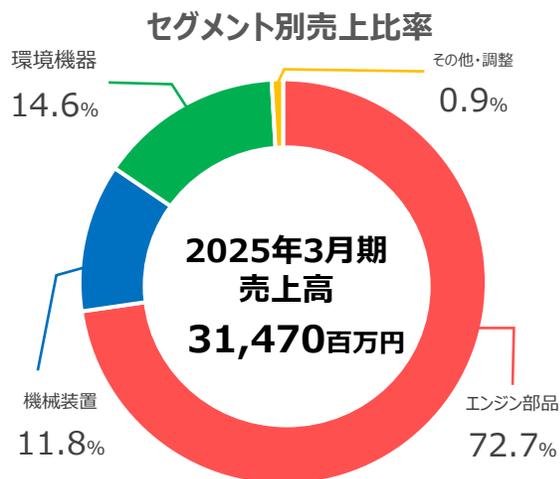
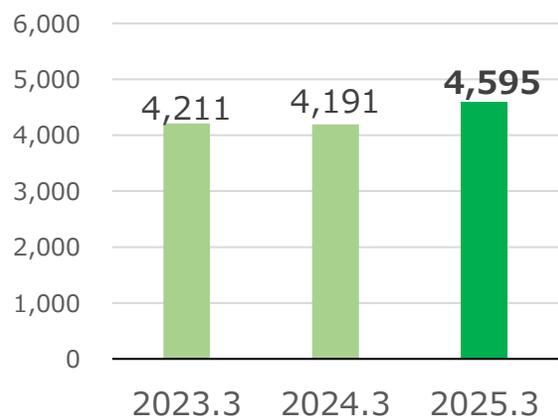
■ エンジン部品



■ 機械装置

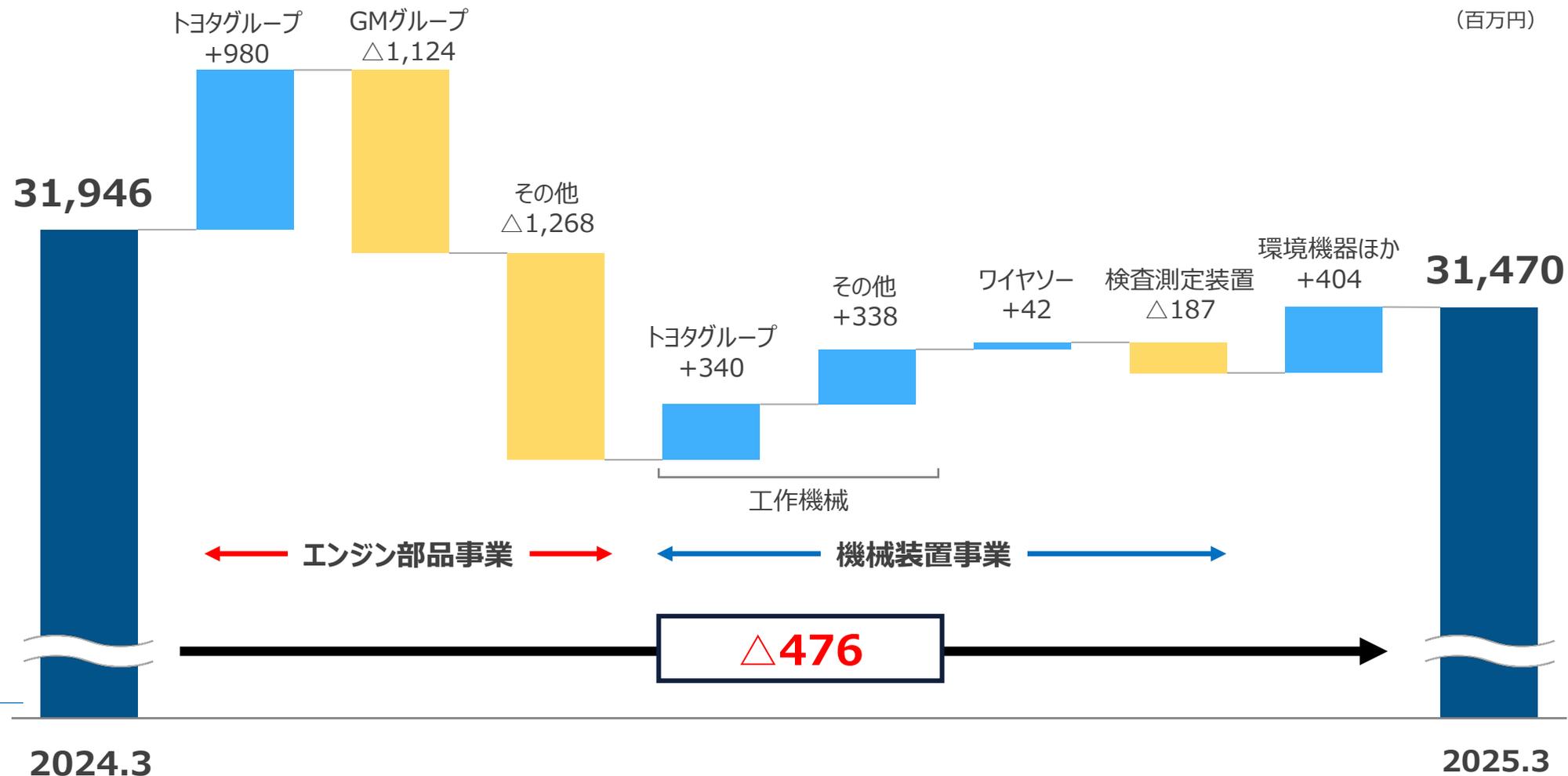


■ 環境機器



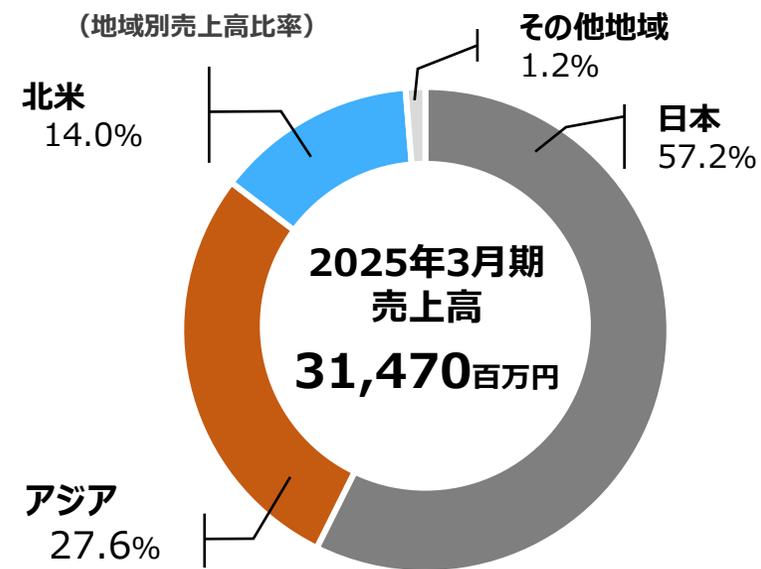
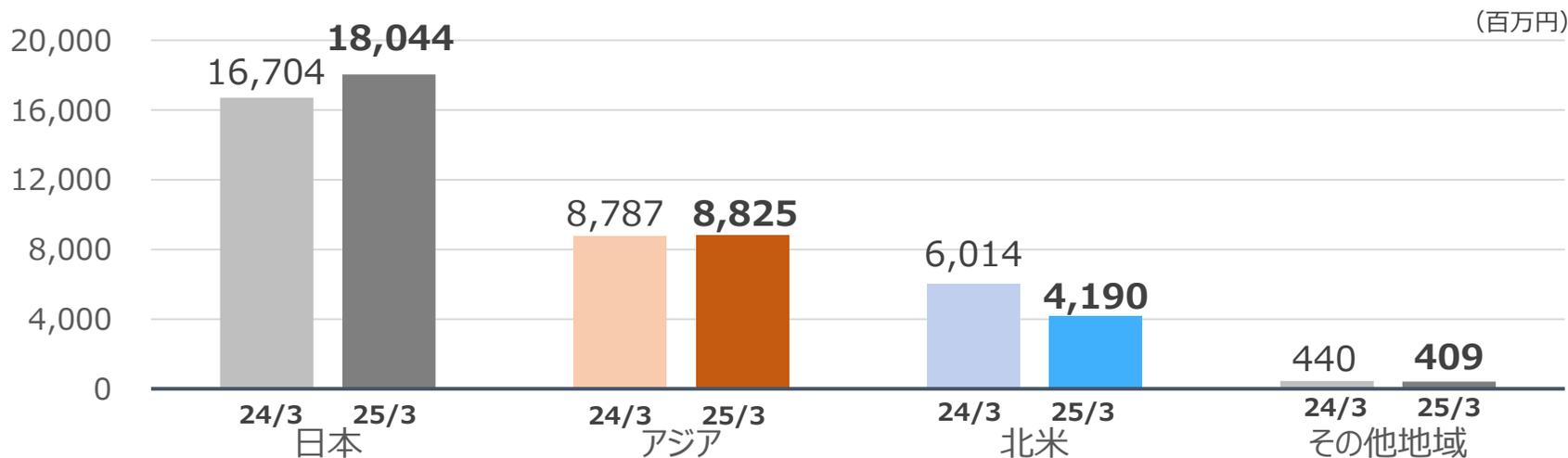
	売上高			営業利益		
	2024年 3月期	2025年 3月期	増減率	2024年 3月期	2025年 3月期	増減率
エンジン部品	24,289	22,877	▲5.8	804	508	▲36.7
機械装置	3,176	3,708	16.7	▲206	▲1	—
環境機器	4,191	4,595	9.6	25	212	728.9
その他・調整	288	288	▲0.1	22	37	.64.9
合計	31,946	31,470	▲1.5	645	758	17.4

# 売上高増減要因



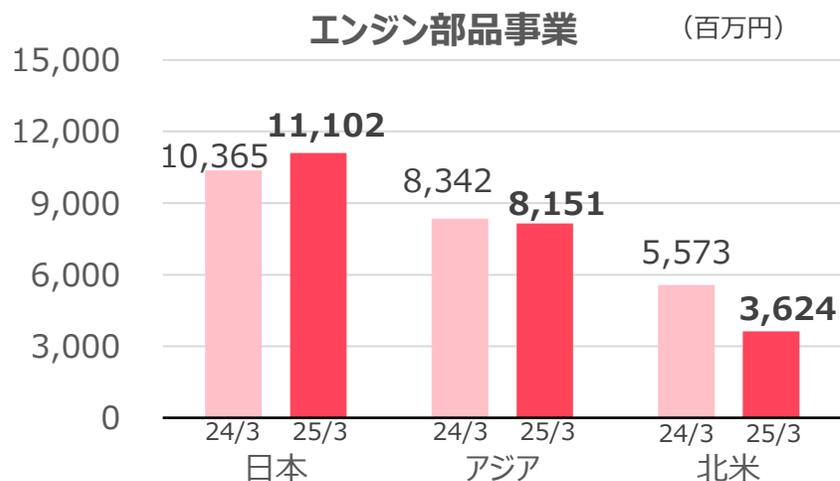
# 地域別売上高

## 事業全体

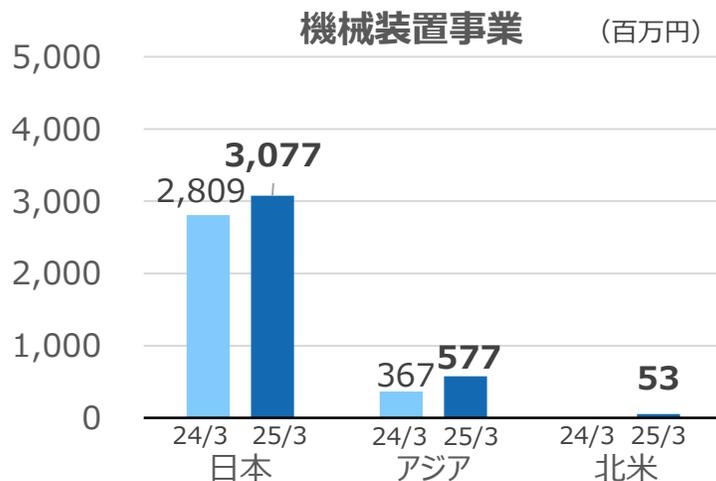


## (セグメント別)

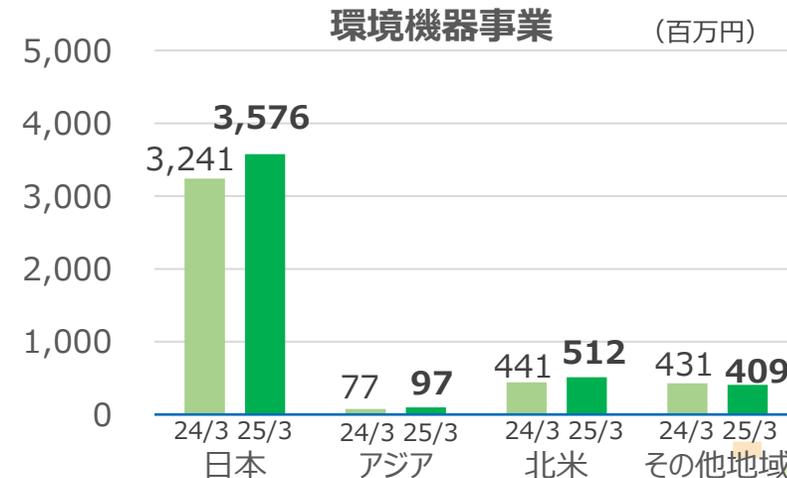
### エンジン部品事業



### 機械装置事業



### 環境機器事業

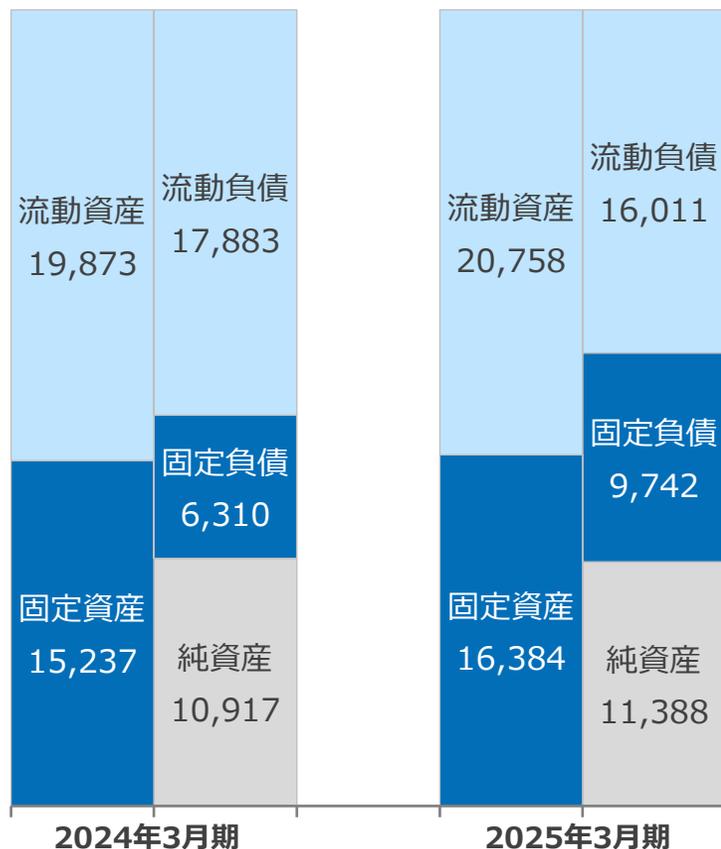


# 貸借対照表

(百万円)

## 貸借対照表の状況

(百万円)



	2024年3月期	2025年3月期	増減額	主たる増減
流動資産	19,873	<b>20,758</b>	884	現金及び預金840
固定資産	15,237	<b>16,384</b>	1,146	有形固定資産1,274
<b>資産合計</b>	<b>35,111</b>	<b>37,142</b>	<b>2,031</b>	
流動負債	17,883	<b>16,011</b>	△1,872	短期借入金△1,350 未払金△818
固定負債	6,310	<b>9,742</b>	3,431	長期借入金2,795 長期未払金860
純資産	10,917	<b>11,388</b>	471	利益剰余金608
<b>負債・純資産合計</b>	<b>35,111</b>	<b>37,142</b>	<b>2,031</b>	
有利子負債	16,198	<b>18,628</b>	2,430	
自己資本比率	31.1%	<b>30.7%</b>	△0.4	
DELシオ	1.48倍	<b>1.63倍</b>	1.5	
1株当たり純資産	1,059.14円	<b>1,104.92円</b>	45.78	

# 損益計算書

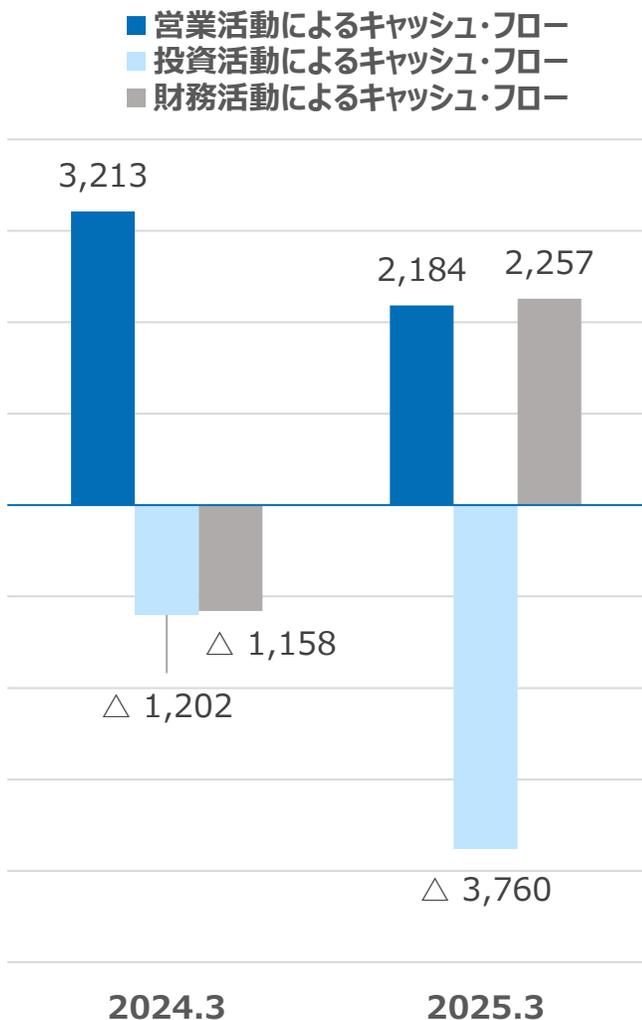
(百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	31,946	100.0%	31,470	100.0%	△1.5%
売上原価	27,528	86.2%	26,777	85.1%	△2.7%
販管費	3,772	11.8%	3,934	12.5%	4.3%
営業利益	645	2.0%	758	2.4%	17.4%
営業外収益	138	0.4%	371	1.2%	167.3%
営業外費用	217	0.7%	190	0.6%	△12.4%
経常利益	567	1.8%	939	3.0%	65.4%
税引前当期純利益	771	2.4%	1,030	3.3%	33.6%
法人税等合計	163	0.5%	287	0.9%	76.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	607	1.9%	742	2.4%	22.1%

# キャッシュ・フロー

(百万円)

## キャッシュ・フロー



(百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	3,213	2,184	△1,028
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,202	△3,760	—
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,158	2,257	—
現金及び現金同等物 の増減額	1,111	840	△271
現金及び現金同等物の 期末残高	6,228	7,068	840

### 主たる要因

- 営業活動によるキャッシュ・フロー：減価償却費1,921、税金等調整前当期純利益1,030、売上債権△361
- 投資活動によるキャッシュ・フロー：有形固定資産の取得による支出△3,823
- 財務活動によるキャッシュ・フロー：長期借入による収入6,050、長期借入金の返済による支出△3,210



2

## 2026年3月期業績予想

# 2026年3月期 業績予想

(百万円)

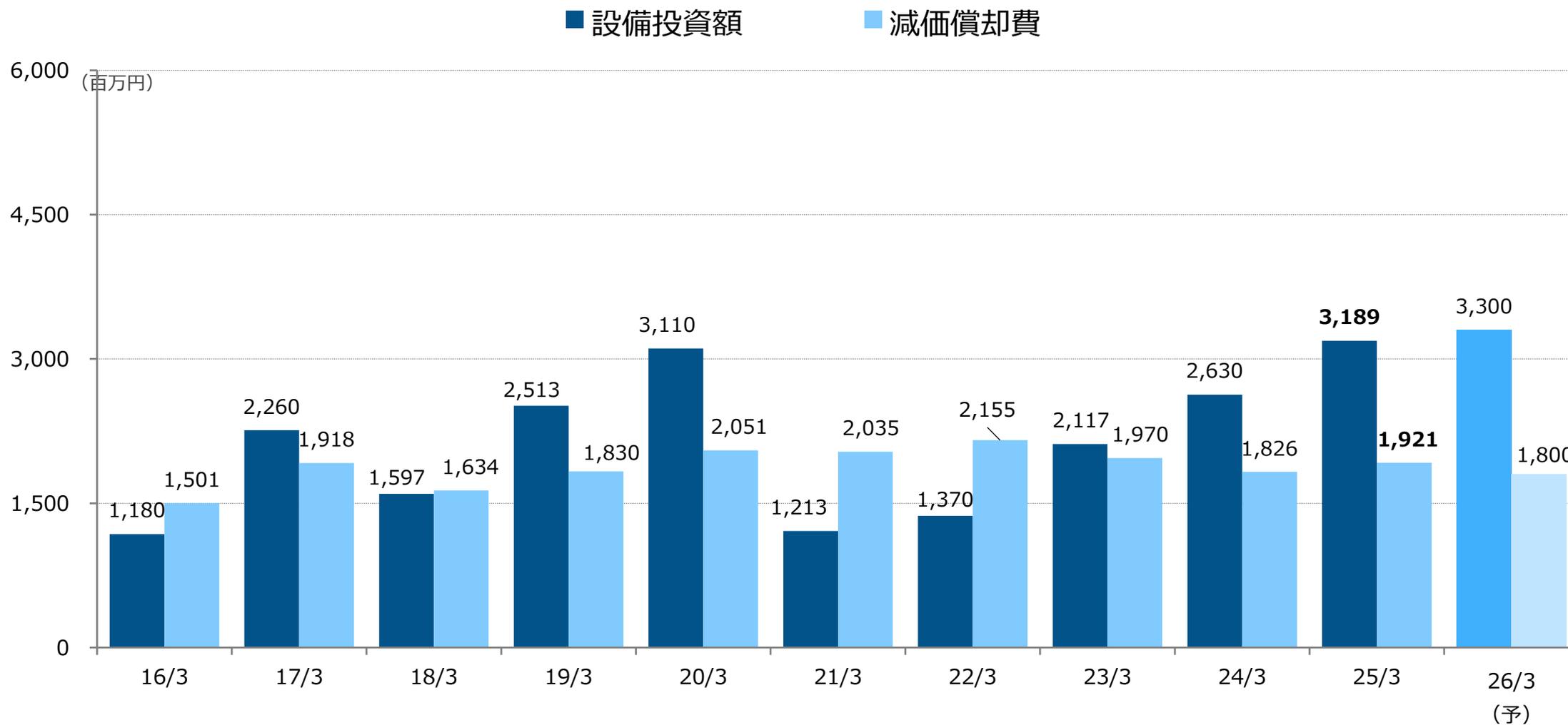
	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減率
売上高	31,470	<b>31,500</b>	0.1%
営業利益	758	<b>800</b>	5.5%
経常利益	939	<b>650</b>	△30.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	742	<b>250</b>	△66.3%

# セグメント別売上高・営業利益予想

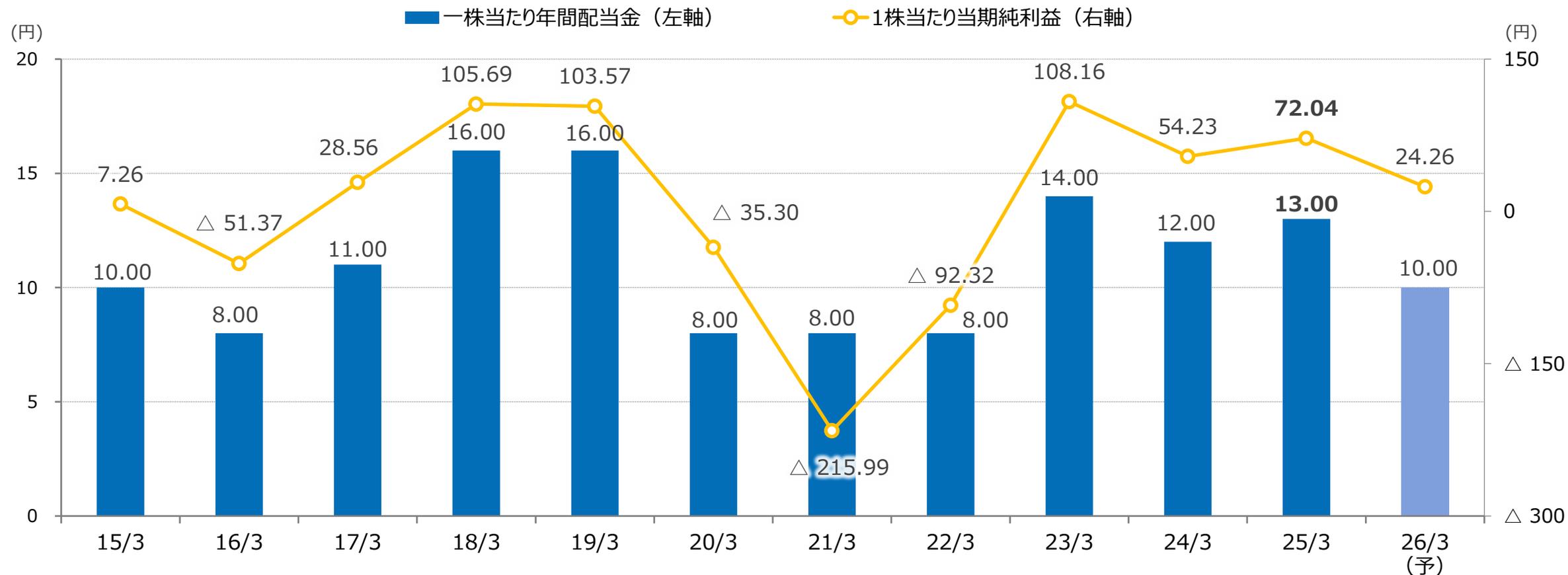
(百万円)

	売上高			営業利益		
	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減率	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減率
エンジン部品	22,877	23,400	2.3%	508	800	57.2%
機械装置	3,708	4,000	7.9%	▲1	▲150	—
環境機器	4,595	4,800	4.5%	212	300	40.9%
その他・連結調整	288	▲700	▲342.7%	37	▲150	▲499.5%
合計	31,470	31,500	0.1%	758	800	5.5%

# 設備投資・減価償却費の推移



## 継続的な配当に加え、業績の拡大に応じた増配を目指す



# 第7次中計の目標

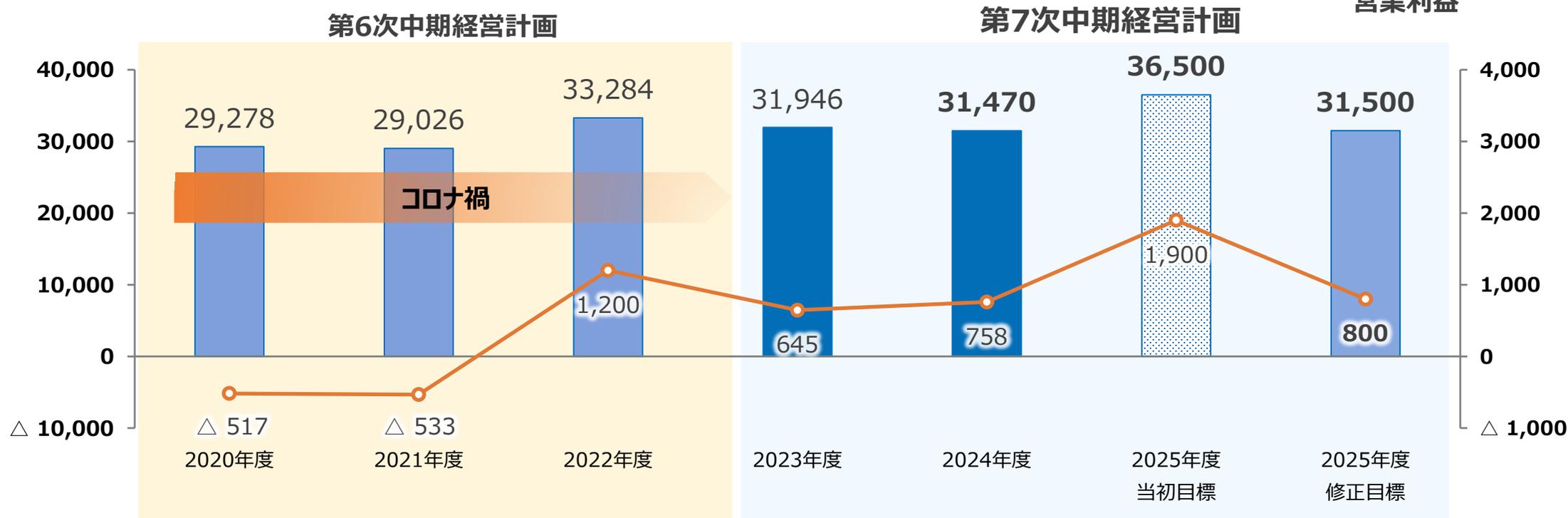
スローガン：「グローバルニッチNo.1の柱を増やす」

技術を活かしてグローバルニッチNo.1製品の拡充と創造を図る

2026年3月期 目標 (百万円)

売上高	31,500
(内訳)	
エンジン部品	23,400
機械装置	4,000
環境機器	4,800
その他調整	▲700
営業利益	800

■ 売上高 (左軸)    ○ 営業利益 (右軸)





# トピックス① エンジン部品事業 新規ラインの立上げ状況

現在、国内外の拠点において、エンジン部品事業の生産ラインの新規立上げを予定しています。  
 今後も、自動車用部品をはじめ、建産機・農機およびマリン・レジャー用部品等の外注化需要や海外現地調達需要を取込むべく、積極的に受注活動を行ってまいります。

拠 点	用途	種類	製 品	量産開始予定
国内	乗用車	HEV	コンロッド	2027年10月
インドネシア	乗用車	HEV	コンロッド	2025年11月
	乗用車	HEV	コンロッド	2026年6月
タイ	産業用機械・レジャー	ICE	コンロッド	2026年4月
	乗用車	HEV	コンロッド	2027年8月
メキシコ	乗用車	HEV	デフケース	2025年7月
	乗用車	ICE	コンロッド	2026年8月
	乗用車	BEV	ギアボックスカバー	2026年2月

## YASUNAGA (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)

TOYOTA MOTOR ASIA(Thailand) Co., Ltd.より  
 「The Winner of 2024 Outstanding Performance Supplier in Quality Performance」受賞。



## P.T.YASUNAGA INDONESIA (インドネシア)

PT. Toyota Motor Manufacturing Indonesia より、  
 ・「2024 ZERO DEFECT QUALITY ACHIEVEMENT」、  
 ・「2024 DELIVERY TARGET ACHIEVEMENT」受賞  
 (2年連続)  
 ・「2024 ENVIROMENT CO<sub>2</sub> REDUCTION TARGET ACHIEVEMENT」初受賞。



兼ねてより開発を進めておりました電極活性化装置（量産機）を大手電池（リチウムイオンバッテリー）メーカー向けに売上が計上しました。従来の電池の生産工程にない新しい提案であり、バッテリーメーカー各社から引合いをいただいています。今後も引き続き、積極的な拡販活動を推進してまいります。

## 電極活性化装置とは

リチウムイオン電池の電極表面に均一かつ高速に微細な孔を開ける装置。

## 世界最速の 微細孔加工装置

競争技術であるレーザー加工の  
**10倍以上の加工速度**



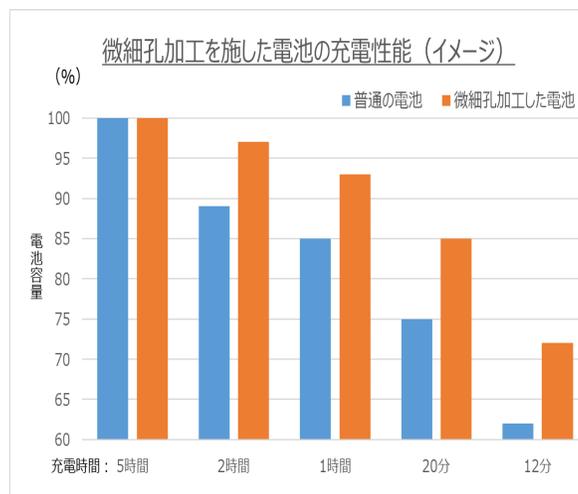
## 電極活性化装置による性能向上

「電極活性化装置」を使って  
製造したリチウムイオン電池

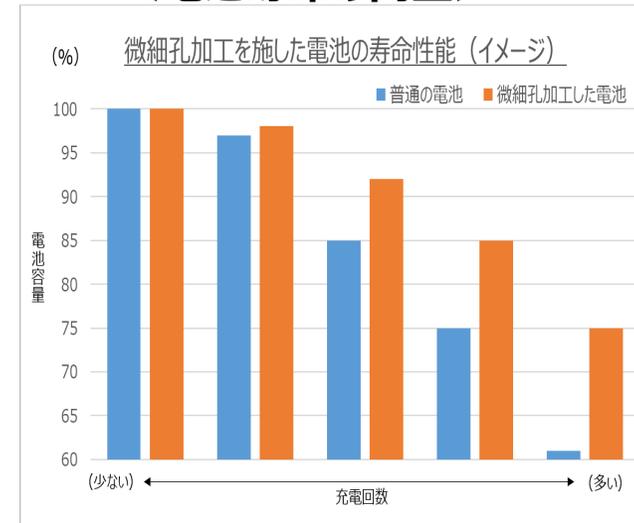


- ・早く充電できる
- ・寿命が延びる

### <充電時間の短縮>



### <電池寿命の向上>



## 車の電動化（BEV・HEV）に貢献

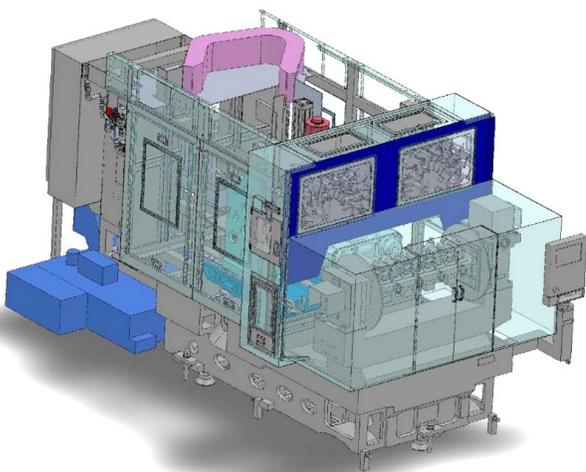
横型高剛性2スピンドルNCセル「F24GT」を開発しました。

F24GTはこれまでよりもさらに設備剛性が求められる部品加工をターゲットとし、自動車のブレーキ部品の加工設備として採用されました。

電動化による車両重量の増加で、ブレーキキャリパにはこれまでより高い性能が求められ、市場の拡大が見込まれています。

安永は「F24GT」の持つ、高い加工能力と生産性でニーズに貢献します。

## F24GTの特性



### ・設備剛性を2倍に向上

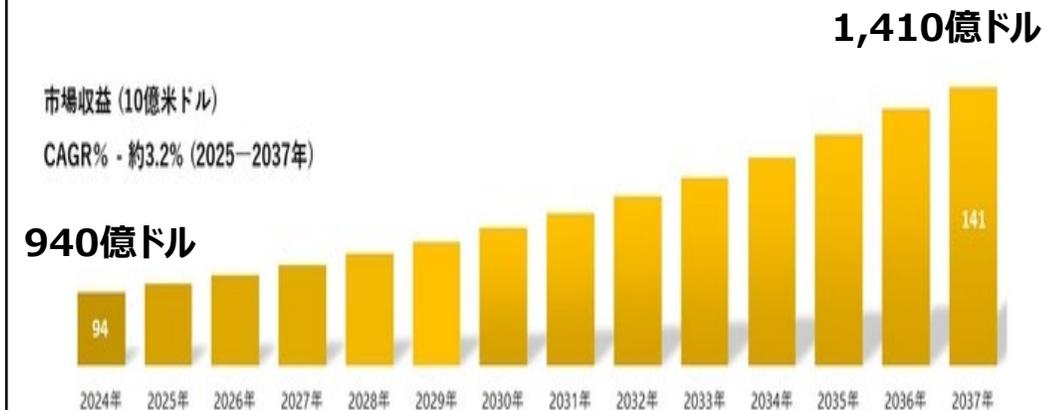
従来ヒット商品の2スピンドルNCセル「F24ST」をベースに、定評のあった高い生産性を維持。

### ・耐久性を大幅に向上

主要構成部品を見直し、これまで加工が難しかった部品の生産も可能に。

### ・設備の信頼性も大幅に向上

## 自動車用ブレーキ キャリパ市場



(出典：SDKI Analytics.)

## ブレーキキャリパとは

「ディスクブレーキ」という種類のブレーキが採用されている車両に装着されています。車が走行してタイヤとホイールが回転すると、ディスクブレーキの「ディスクローター」という部品も一緒に回転します。

運転者がブレーキペダルを踏むと、ブレーキパッドという部品がディスクローターを押さえつけてタイヤの回転を抑制し、車を減速させて走行を停めます。

自動車の制動操作を直接行うブレーキパッドの動作をコントロールする部品です。

# トピックス④ 環境機器事業 新型エアークリーンポンプ・ディスポーザ販売開始

2008年に発売開始したロングランモデルである省エネ型二口エアークリーンポンプ、及びディスポーザを市場の変化に対応するため、商品力をより向上させた新モデルを販売開始しました。

## 新型二口ブロワ(自動逆洗機能搭載) EP-60G,80G

### 特徴

#### フェライト磁石仕様

レアアースを含まない磁石へ切り替え、  
調達リスク低減。

#### 低消費電力

磁気効率の改善で従来比△**13%**を実現し、  
業界トップクラスの低消費電力化を達成。

#### 低騒音・低振動

#### メンテナンス性向上

#### 二重絶縁・絶縁構造強化



## 新型ディスポーザ YD131型

### 特徴

#### 大容量・扁平型

粉碎室容量：**1.5**リットル  
(現行機同等)

#### 排水性能向上

#### 低振動・低騒音

#### 施工性向上



# トピックス⑤ 健康経営優良法人認定とプラチナくるみんプラス認定

2025年3月11日、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2025」に前年に引き続いて認定されました。

また、高い水準の子育てサポート及び不妊治療と仕事の両立に関する各種取り組みを強化した結果、2025年2月に「プラチナくるみんプラス」の認定を受けました。

今後も「当社にとって社員一人ひとりの健康は最も大切な経営資源の一つである」の基本的な考えのもと、心と身体の健康づくりの取り組みを強化し、より健康でいきいきと働ける社員を増やしていくよう取り組んでいきます。



2025  
健康経営優良法人  
KENKO Investment for Health  
大規模法人部門



お問い合わせ先

## 株式会社安永 経営企画部

住所 〒518-0834  
三重県伊賀市緑ヶ丘中町3860番地

TEL 0595-24-2122

この資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。  
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。  
将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。